



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 日本化学産業株式会社

コード番号 4094 URL <http://www.nihonkagakusangyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤英二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長 (氏名) 百瀬 譲

TEL 03-3873-9223

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	4,679	△0.2	568	73.6	603	57.7	415	56.9
28年3月期第1四半期	4,689	△1.8	327	△31.6	382	△25.3	264	△17.0

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 199百万円 (△12.9%) 28年3月期第1四半期 229百万円 (△32.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	21.02	—
28年3月期第1四半期	13.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	34,664	29,037	83.8	1,469.74
28年3月期	34,283	29,035	84.7	1,469.64

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 29,037百万円 28年3月期 29,035百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	9.00	—	10.00	19.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	10.00	—	11.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	9,130	0.7	1,100	87.0	1,170	73.8	810	74.4	41.00
通期	18,730	1.1	2,390	45.6	2,540	40.6	1,710	1.4	86.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	20,680,000 株	28年3月期	20,680,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	922,855 株	28年3月期	922,765 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	19,757,225 株	28年3月期1Q	19,968,675 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年6月30日)におけるわが国経済は、前年までは日本経済に一定の効果をもたらしたアベノミクスも、年明け以降、円高、株安が続き、これが企業収益の下押し、個人消費の低迷を招き、加えてインバウンド需要の陰り等から足踏み状態が続いています。また第1四半期の後半に発生した英国のEU離脱の影響も限定的ながら企業の景況感や消費者マインドをマイナスにしており、景気の先行きを不透明なものとしております。

このような状況のもと、当社グループは、薬品・建材事業ともに新製品や新規用途開発品を中心とした販売・生産数量の確保・拡大、新規ユーザーの開拓、価格競争力を増すための低コスト体質強化に引続いて取り組んでまいりました。同時に、海外(タイ)子会社においては主力ユーザーの事業撤退に直面したネクサス・エレケミック社の体制検討、サイアム・エヌケーエス社における車載用製品等の安定生産、増産体制の確立への対応、国内においては福島第一工場における二次電池用正極材受託加工の安定供給、増産体制の確立等の具体的課題に尽力してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高は、前年同四半期比で9百万円0.2%減の4,679百万円、営業利益が前年同四半期比241百万円73.6%増の568百万円、経常利益が前年同四半期比220百万円57.7%増の603百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同四半期比150百万円56.9%増の415百万円となりました。売上は横這いながら、利益面では原価減を主因として大幅な増益となりました。

尚、平成23年に発生したタイの大規模洪水で被災したことを契機に取引先が複数購買を実施したこと、さらにパソコン需要の低迷に伴う主力ユーザーの撤退等により業績が悪化し、営業損失に陥ったネクサス・エレケミック社は、前期、前々期に固定資産の減損処理、要員のリストラ等の対応により業績回復を目指しましたが、既に平成28年7月4日に開示しておりますように、今後、メッキ加工事業の業績回復が見込めない状況と判断し、同日の取締役会で解散、清算を決議いたしました。現在、清算に向けて手続きを開始しておりますが、その解散による連結業績への影響は、既にマイナス要素を処理していることから、軽微なものと考えております。

セグメントの業績は、次のとおりとなります。

[薬品事業]

主力の薬品事業は、国内においては、納入先の複数購買化、生産拠点の海外シフトおよび中国経済減速の影響等により販売数量が伸び悩み、また非鉄金属相場低落により販売単価が下落したことから売上高が減少し、海外においては、サイアム・エヌケーエス社における更なる新製品である車載用関連製品2品目が実績化され、売上、利益とも大幅に増加したものの、国内の売上減少を補いきれず、売上高は前年同四半期比51百万円1.3%減の3,898百万円となりました。

利益面では、国内においては、福島第一工場における二次電池用正極材受託加工が本格稼働し固定費負担が軽減されたこと等により、さらに海外においても、ネクサス・エレケミック社の営業損失が、前期に行った減損処理およびリストラ対応等により縮小する一方、サイアム・エヌケーエス社の車載用関連製品2品目の実績化が寄与したことにより、海外子会社全体で営業利益がプラスに転じたこともあり、薬品事業全体の営業利益は前年同四半期比240百万円99.9%増の481百万円と大幅に増加しました。

[建材事業]

消費税増税前の駆け込み需要の反動減の影響で新設住宅着工戸数が依然として低調に推移したことに伴い、住宅関係において主力製品である防火通気見切り縁は減少したものの実績化が遅れていた新製品が実績化されたことにより、売上高は前年同四半期比42百万円5.7%増の780百万円となり、営業利益も前年同四半期比29百万円15.5%増の222百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、売上債権が減少したものの、現金及び預金が増加したことにより、前連結会計年度末比782百万円増の23,083百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が本社隣地の取得に関わる増加はあったものの、既存設備の減価償却が進んだことにより前連結会計年度末比8百万円減の5,609百万円と減少し、投資その他の資産でも投資有価証券が株価下落により減少し、前連結会計年度末比394百万円減の5,920百万円と減少したことにより、全体で前連結会計

年度末比 401 百万円減の 11,580 百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ 380 百万円増の 34,664 百万円となりました。一方、負債は、流動負債が前連結会計年度末比 424 百万円増の 4,772 百万円となり、固定負債が前連結会計年度末比 45 百万円減の 853 百万円となったため、全体で前連結会計年度末比 378 百万円増の 5,626 百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末比 1 百万円増の 29,037 百万円となり、その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の 84.7%から 83.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 29 年 3 月期の連結業績予想につきましては、現在までのところ概ね当初予想の範囲内で推移していることから、第 2 四半期連結累計期間・通期ともに平成 28 年 5 月 13 日公表の予想から変更いたしておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 追加情報

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 6 月 30 日)
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第 26 号 平成 28 年 3 月 28 日)を当第 1 四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,151,732	14,040,461
受取手形及び売掛金	5,948,717	5,787,195
商品及び製品	963,064	942,327
仕掛品	975,539	1,055,899
原材料及び貯蔵品	1,038,075	1,025,258
繰延税金資産	148,613	148,472
その他	77,244	85,825
貸倒引当金	△1,640	△1,590
流動資産合計	22,301,348	23,083,850
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,846,267	1,831,812
その他(純額)	3,771,467	3,777,312
有形固定資産合計	5,617,734	5,609,124
無形固定資産		
	49,257	50,796
投資その他の資産		
投資有価証券	3,027,771	2,731,826
繰延税金資産	203	329
その他	3,288,895	3,189,919
貸倒引当金	△1,570	△1,570
投資その他の資産合計	6,315,300	5,920,505
固定資産合計	11,982,292	11,580,426
資産合計	34,283,641	34,664,276
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,102,720	2,256,609
短期借入金	566,400	952,600
未払法人税等	496,046	194,751
賞与引当金	325,000	169,367
役員賞与引当金	25,000	7,500
資産除去引当金	33,000	33,000
その他	800,506	1,159,037
流動負債合計	4,348,674	4,772,865
固定負債		
繰延税金負債	385,462	347,412
環境対策引当金	9,532	9,532
退職給付に係る負債	314,797	310,262
資産除去債務	129,746	130,414
その他	59,475	55,964
固定負債合計	899,013	853,585
負債合計	5,247,687	5,626,450

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,000	1,034,000
資本剰余金	613,767	613,767
利益剰余金	26,965,062	27,182,846
自己株式	△461,547	△461,616
株主資本合計	28,151,281	28,368,996
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	719,259	583,468
為替換算調整勘定	300,907	214,607
退職給付に係る調整累計額	△135,496	△129,246
その他の包括利益累計額合計	884,671	668,829
純資産合計	29,035,953	29,037,826
負債純資産合計	34,283,641	34,664,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	4,689,082	4,679,556
売上原価	3,768,967	3,497,687
売上総利益	920,114	1,181,868
販売費及び一般管理費	592,624	613,219
営業利益	327,489	568,648
営業外収益		
受取利息	6,234	6,249
受取配当金	33,303	34,640
不動産賃貸料	14,587	14,003
その他	14,464	6,126
営業外収益合計	68,590	61,020
営業外費用		
支払利息	2,862	3,126
売上割引	2,841	2,094
賃貸収入原価	6,987	6,478
為替差損	-	13,870
その他	783	564
営業外費用合計	13,475	26,133
経常利益	382,605	603,534
特別利益		
固定資産売却益	25	-
受取補償金	21,384	-
特別利益合計	21,409	-
特別損失		
固定資産除却損	2,404	1,126
特別退職金	-	7,518
特別損失合計	2,404	8,645
税金等調整前四半期純利益	401,610	594,889
法人税等	136,910	179,533
四半期純利益	264,700	415,356
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	264,700	415,356

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	264,700	415,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55,574	△135,790
為替換算調整勘定	21,693	△86,300
退職給付に係る調整額	△1,712	6,250
その他の包括利益合計	△35,593	△215,841
四半期包括利益	229,106	199,514
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,106	199,514
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,950,691	738,390	4,689,082	—	4,689,082
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,950,691	738,390	4,689,082	—	4,689,082
セグメント利益	240,664	192,423	433,088	△105,599	327,489

(注) 1. セグメント利益の調整額△105,599千円は各セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,898,731	780,825	4,679,556	—	4,679,556
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,898,731	780,825	4,679,556	—	4,679,556
セグメント利益	481,169	222,176	703,345	△134,697	568,648

(注) 1. セグメント利益の調整額△134,697千円は各セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。